

署名をお願いします!

署名、賛同人・会員登録の方法はこちら

①下のハガキに記入して郵送
お手数ですが、切手を貼って投函してください。

②下のハガキに記入してFAX
FAX: 03-5539-4046

③当会WEBサイトの申込フォームから
http://kokumintohyo.com/apply_form



政府と国会に対して 「原発」国民投票の実施を求めます

署名用紙

フリガナ
お名前

ご住所

電話番号

肩書き(任意)

メールアドレス(わかりやすい文字で記してください)

メールアドレスを記入された方でメールニュースを希望しない方は右にチェックを入れてください。 希望しない

当会の賛同人または会員になっていただけますか?
署名のみ。 賛同人になります。 会員になります。
※賛同人には1人1000円のカンパをお願いしています。
※会員には年会費3000円をいただいています。
※当会WEBサイトにお名前・肩書きを掲載させていただきます。

賛同人・会員登録をされた方でWEBサイトへの名前掲載を希望しない方は右にチェックを入れてください。 希望しない

ご登録された個人情報は上記団体以外の第三者には一切開示せず、運動の目的に限定して、厳重かつ細心の注意をもって管理いたします。

キリトリ線

みんなで決めよう 「原発」国民投票

【お問い合わせ】
みんなで決めよう「原発」国民投票
〒211-0004 神奈川県川崎市中原区新丸子東3-1100-12
かわさき市民活動センター レターケースNo.36
Tel: 070-5369-9707 fax: 03-5539-4046
<http://kokumintohyo.com/>
mail: info@kokumintohyo.com

※本会では、国民投票や住民投票を知るための勉強会、討論会など、さまざまなイベントを行なっております(不定期)。ご賛同ご署名の有無に関わらず、どなたでもご参加いただけます。

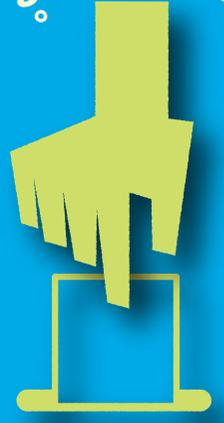
会費・カンパの振込先

- ◆城南信用金庫 稲城支店 普通口座 335551
口座名義: マキカスコ
- ◆三菱東京UFJ銀行 新宿支店 普通口座 0141091
口座名義: みんなで決めよう「原発」国民投票 中村映子
- ◆三井住友銀行 新宿通支店 普通口座 9601530
口座名義: みんなで決めよう「原発」国民投票 中村映子
- ◆みずほ銀行 新宿中央支店 普通口座 2942855
口座名義: みんなで決めよう 原発・国民投票
- ◆ゆうちょ銀行 店名ゼロイチハチ 普通口座 1965734
口座名義: ナカムラエイコ (店番018/記号10180/番号19657341)

※この会は、市民ひとりひとりのカンパ・会費によって運営しています。

みんなで決めよう 「原発」国民投票

「原発」をどうするか。
私たちの未来は、
私たちが決める。



市民グループ みんなで決めよう「原発」国民投票

2014年12月20日発行

みんなで決める。直接決める。実現させよう、「原発」国民投票。

☆おまかせ民主主義から脱却しよう!

「原発」をどうするのか。この極めて重大な問題は、これまでのように政府や国会が決めるのではなく、主権者である私たち一人ひとりの国民が実質的な決定権を握るべきではないでしょうか。「原発」に関する国民投票を実施する——それは、決して不可能なことではありません。それを果たすために私たちは、市民グループ【みんなで決めよう「原発」国民投票】を結成しました。私たちは、「脱原発」あるいは「原発推進」を主張するグループではありません。原発の将来をどうするのかについて、国民投票を実現させ、直接民主主義による主権者の選択が国家意思として政治や行政に反映されることを目的に活動するグループです。メンバー個々人が「原発」についてどういう考えを持ち、どんな発言をするかは自由ですが、会として「脱原発」あるいは「原発推進」を呼び掛けることはありません。これは市民の知恵と情熱で歴史的な住民投票を実現させた、新潟の「巻原発・住民投票を实行する会」や徳島の「第十堰住民投票の会」のスタイルに倣いました。この考えをご理解いただき、私たちのグループに参加してください。



3.10「原発」国民投票 TOKYO APPEAL 2013/3/10
当会共同代表：宮台真司、社会学者(中央)、杉田敦、社会学者(右)

みんなで決めよう
「原発」国民投票



この人も、あの人も。賛同人の輪が広がっています。

◆**本会賛同人**(2014年10月現在6893人)のごく一部を紹介します。順不同。

【詩人・作家・劇作家など】

谷川俊太郎、俵万智、辻井喬、湯川れい子、浅田次郎、落合恵子、黒川創、吉岡忍、平田オリザ

【評論家・コラムニスト・編集者・ジャーナリストなど】

天野祐吉、森まゆみ、枝元なほみ、小中陽太郎、野田知佑、孫崎享、今井一、内田誠、太田和彦、轡田隆史、横尾和博、浅野信生、大芝健太郎、山口栄一

【絵本作家・漫画家・パロディストなど】

石坂啓、いとうえみこ、こぐれひでこ、玉井雪雄、たるいしまこ、藤堂裕、とりこえまり、マッド・アマノ

【写真家・映画監督・ドキュメンタリストなど】

藤原新也、友長勇介、木村文洋、是枝裕和、小林聖太郎、想田和弘、森崎東、浮田哲、山田和也

【俳優・タレント・音楽家・キャスターなど】

愛川欽也、大橋巨泉、小室等、坂本龍一、中川敬、藤波心、金子あい、豊竹英大夫、細井尚登、朝霧裕、金子飛鳥、沢田穠治、三木孝信、ピーター・バラカン、土谷多恵子、PIKA☆

【学者・研究者など】

飯田哲也、伊藤公紀、今里佳奈子、今中哲二、大熊孝、小川晃弘、片山博文、後藤政志、五野井郁夫、坂本満、杉田敦、竹内昌義、武田真一郎、田中優、田村理、中尾ハジメ、南部義典、長谷川公一、宮台真司、三輪眞弘、村田光平、山口二郎

【弁護士など】

伊藤真、井口博、岩井信、大賀浩一、太田啓子、小倉京子、折田泰宏、柏原晃一、河崎健一郎、中西基、西晃、野間美喜子、平井治彦、三浦直樹、山口修

【NPO・NGO、企業・団体代表など】

湯浅誠、西尾漢、吉原毅、斎藤駿、野中ともよ、千葉麗子、鈴木邦男、山木きょう子、荒木伸子、今村明子、富樫泰良、マエキタミヤコ、辻信一、レーナ・リンダール

【住民投票の請求代表者・執行者など】

笹口孝明、村西俊雄、柳川喜郎、住友達也、板東孝明、満岡聰、有友正本、島田清作、山田真、高田恵理、柳浦彰、村上稔

◆賛同人の声

谷川俊太郎(詩人)

「国民投票かあ、新鮮だなあ、ワクワクするなあ、これは原発テーマのドラマだ。お金もかかるだろうし、裏工作もいろいろあるだろうけど、ひとりひとりが組織を離れて本音が言えるチャンスだよ。善かれ悪しかれ私たち日本人の意識(と意識下)が試されると思う。」

浅田次郎(作家)

「国民投票という制度が日本にあったとしたら、今、とても強力で有効な手段だと思います。こういう時にこそ有効です。選挙の意味がない時だもの。でも、ほとんどの政治家は国民投票に反対する。僕が嫌なのはね、伝統的に、日本の政治家が愚民思想を持っていること。自分たちが選良であって、国民は愚かであるというね。」

想田和弘(映画作家)

「原発などとても重大な課題について、住民や国民の声を政治や行政に反映するという点で、間接民主制がうまく機能していません。直接民主制というシステムが現にあり、諸外国では実際にいろいろ活用されているわけだから、それを使わない手はないだろう、国民投票しかないんじゃないかなってことです。」

衣山弘人(「原発」避難者)

「3.11直後に家族とともに南相馬市を脱出し、辿り着いた広島市で避難生活を送っています。原発に賛成の人も反対の人も、その本質を知った上で、自らが主権者として責任を持って是非を判断する。それが最良だと考え、連日、原爆ドーム前で政府や国会に「原発」国民投票の実施を求める署名集めをしています。」

笹本愛(自営業者)

「史上最悪の原発事故は、私の故郷福島で起きました。実家は放射能で汚されたことで、失ったも同然です。この事故が起こるまでは、日本のすべての原発が安全であると思込んできた一人です。日本に生き、ましてや福島に実家があるものとして「原発」国民投票に賛同します。日本のすべての人が真剣に考え、答えを出すべきです。」



リトアニア「原発」国民投票・投票所(2012)



イタリア「原発」国民投票ポスター(2011)



住民投票のようす(日本)



Q. 国民投票・住民投票って何? 選挙とどう違うの?

A. 学級委員を選ぶ、会社や町内会の役員を選ぶ、国会議員や自治体の議員・首長を選ぶ。自分に代わって色々なことを決める代理人を選ぶのが選挙です。みなさんも必ず何かの選挙を経験しているはず。一方、国民投票・住民投票というのは、一つのテーマ(案件)に関して、その賛否や最も適切だと思われる案を、一人ひとりの直接投票で決めるものです。簡単に言えば選挙は「人」を選び、国民投票・住民投票は「事柄」を決めるということです。

Q. 国民投票・住民投票って実際に行われているの?

A. 住民投票は、日本では「原発」「産廃」「基地」や「市町村合併」などをテーマに、これまで460件以上実施されています。諸外国でも住民投票が活用されており、例えばアメリカでは2012年の大統領選の際、38州で計176件の住民投票が実施されました。国民投票は、ヨーロッパを中心にナポレオンの時代から今日まで、「原発」「憲法」「徴兵制」「EU加盟」「試験管ベビー」など多彩なテーマで、1200件以上実施されています。しかし、日本では国民投票は一度も行われたことがありません。

Q. 日本では住民投票はできても国民投票はできない?

A. できます。多数の自治体が住民投票条例を制定して住民投票を行なっているように、実施のためのルール設定といえる「国民投票法」を制定すればできます。国会や政府が主権者・国民の意思を確認、尊重して政治や行政に反映する(諮問型・助言型)の国民投票なら、憲法を改める必要もありません。かつてスウェーデンやリトアニアが「原発」をテーマに行なった国民投票ではこの方式を採用しました。日本でも、「原発」国民投票法を制定しさえすれば、すぐにでも実施できるものなのです。

Q. 「原発」の問題は選挙で決着を付けられればいいのでは?

A. 選挙では「原発」についての民意は汲み上げられません。現に2012年、討論型世論調査やパブリックコメントでは原発ゼロを求める人が多数であったにもかかわらず、12月の総選挙では「原発推進」を明言する安倍晋三氏率いる自民党が過半数を制しました。この選挙で「原発」の問題が十分議論されたかという、決してそうではありません。政党・候補者が多くの課題についての政策をパッケージで示して支持を得る選挙と、「原発」という一つの案件で主権者一人ひとりの判断を仰ぐ国民投票とはまったく異なります。

Q. 実際、選挙と国民投票で結果が違ったりするの?

A. はい。それはよくあることです。例えば、リトアニアでは2012年10月に国政選挙と「原発」国民投票が同時に実施され、同じ日に同じ人が2種類の投票を行いました。その結果、選挙は「原発」反対派候補が敗れましたが、国民投票は「原発」反対が有効投票の65%を占めました。このように選挙と国民投票・住民投票の結果が捻じれるのはよくあります。原発建設で揺れた新潟県巻町、三重県海山町もそうでした。

Q. 国民投票で正しい判断を下せるのでしょうか?

A. 直接民主主義によって、国民が必ず正しい判断を下せるとは限りません。しかしこれは、代議制民主主義でも同じです。福島第一原発の過酷事故の発生は、これまで政治家が推し進めてきたエネルギー政策に瑕疵があったことを如実に示しています。選挙や任期にとらわれない、しがらみのない国民の方がより賢明な判断を下せると考えます。また、「情報・学習」と「議論」が不十分だから今はまだ実施すべきでないという考えがありますが、これは間違いです。順序が逆で、各地の住民投票の現場が物語るように、国民投票を実施すると決めることによって、一人ひとりの主権者が原発問題に強い関心を抱き、よく学び、話し合うようになるのです。

日本で実施された「核」「原発」に関する住民投票

1996	巻町(新潟県)	東北電力の原子力発電所建設	反対 60.9%
2001	刈羽村(新潟県)	刈羽原発プルサーマル計画の導入	反対 53.4%
2001	海山町(三重県)	原発誘致	反対 67.3%

アメリカで実施された「核」「原発」州民投票(一部)

1976	モンタナ	原発建設の規制強化	否決
1978	モンタナ	原発建設の規制強化	可決
	ハワイ	原発建設の規制強化	可決
	オレゴン	原発建設費を電気料金に被せることを禁止	可決
1980	ワシントン	核廃棄物の持ち込み禁止	可決
	サウスダコタ	核燃料サイクル施設建設の規制強化	否決
1981	ワシントン	公費を原発に投入することを規制	可決
1986	ワシントン	核廃棄物処分計画の撤回	可決
1992	オレゴン	原発閉鎖費用の株主負担	否決

世界で実施された「原発」国民投票

1957	スイス	原子力に関する立法の連邦権限	可決
1978	オーストリア	原発可動開始の是非	反対 50.4%
1979	スイス	条件付き原発容認案	反対 51.2%
1979	スイス	原子力法の改正	賛成 69%
1980	スウェーデン	原発容認・現状維持案	(18.9%)
		条件付き原発容認案	(39.1%)
		原発反対・廃止案	(38.6%)
1984	スイス	新たな原発建設の禁止	否決
		安全性や環境保護を優先	否決
1987	イタリア	原子力発電の是非についての3つの案件	
		①地元承認なしの原発建設を認めない	賛成 80.6%
		②立地自治体への補助金の廃止	賛成 79.7%
		③国外での原発建設の禁止	賛成 71.9%
1990	スイス	①脱原発案	反対 52.9%
		②原子力凍結案	賛成 54.6%
		③エネルギー条項案	賛成 71.0%
2003	スイス	①新規原発建設凍結を10年間延長	反対 58.4%
		②稼働中のを2014年までに順次閉鎖	反対 66.3%
2008	リトアニア	イグナリナ原発2号機の稼働延長	
		※賛成 89.95%だったが投票率 50%未満のため無効	
2011	イタリア	原発再開のための法律の廃止の是非	賛成 94%
2012	リトアニア	日立製原発建設の是非	反対 65%
2013	ブルガリア	新規原発の建設の是非	賛成 61%

選挙では汲み上げられない主権者の意思。 世界で行われている「原発」国民投票を日本でも。



国民投票にかける際の設定問 (私たちの第4次市民案)

【設問】

原子力発電所について、これをどうすべきだと考えますか?

*「稼働を認める」/「稼働を認めない」のどちらかを選択したのち、その枠の下に進んでください

稼働を認める

稼働を認めない

*下記のうちどちらかを選択してください

*下記のうちどちらかを選択してください

A- 現在ある原子力発電所に限って稼働を認める

C- 即刻(遅くとも半年以内)、すべての原子力発電所を廃止する

B- 新規建設される原子力発電所についても稼働を認める

D- 段階的に廃止していき、10年以内にすべての原子力発電所を廃止する

※解説: 投票者はまず「認める」か「認めない」かを選びます。そのあと「認める」を選んだ人は A または B を選択し、「認めない」を選んだ人は C または D を選択します。行政府や立法府が国民投票の結果として尊重しなければならないのは、ABCD の中で最も多数の票を得たものではなく、「認める」あるいは「認めない」で多数票を得たほうの中の 2 段階目の選択で多数を得たものになります。

☆「原発」国民投票を実現するために...0

1 署名をしてください。

政府と国会に対して速やかに「原発」国民投票の実施を求める署名を集めています。目標は 111 万筆です。

2 賛同人になってください。

会の存在・活動に賛同し、会合に参加したり仲間を増やしたりして、会を支え動かす賛同人を募っています。
※賛同人には1人1000円以上のカンパをお願いしています。

3 会員になってください。

総会での議決権を持ち、会の方針決定にかかわれます。会報誌 MINT をお届けします。
※会員には年会費3000円をいただいています。

署名、賛同人・会員登録の方法はこちら

①右のハガキに記入して郵送
お手数ですが、切手を貼って投函してください。

②右のハガキに記入して FAX
FAX: 03-5539-4046

③当会 WEB サイトの申込フォームから
http://kokumintohyo.com/apply_form

※賛同人はお名前と肩書きを会の WEB サイトに掲載させていただきます。(掲載しない選択もできます)。メールアドレスは、会の事務局および地域運営委員からの連絡などに使わせていただきます。また賛同人メンバーリストに加入していただけます。

振込先は裏面に記載しています。

郵便はがき

すみません
切手を
貼って下さい

211-0004

神奈川県川崎市中原区新丸子東 3-1100-12
かわさき市民活動センター レターケース No.36
みんなで決めよう「原発」国民投票 行
Tel 070-5369-9707 fax 03-5539-4046

みんなで決めよう
「原発」国民投票

おまかせ民主主義から脱却しよう!

通信欄 お書きいただいたご意見は、インターネット等で匿名にてご紹介させていただく場合がございます。